

プログラム名		「地域づくりコース」		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 相談支援従事者現任研修における「相談支援専門員による地域づくり」に係るプログラムを展開するために必要となるファシリテーターの資質について確認する。 ● 自らの地域づくり実践を振り返り、ファシリテーターの役割を果たすために活用できる要素に気づく。(理論的な理解を促すために実践を例えて説明できるための力を獲得する。) ● 法定研修における「地域づくり」と地域自立支援協議会の活用および効果的な運営の連動について考える。 			
コース対象者	<p>(1) 自身がその業務において現に「地域づくり」に係る実践を行っている者であること。</p> <p>(2) 上記(1)に該当しない場合、「地域づくり」に係る実践を今後行うことに強い意欲がある者であること。</p> <p>(3) 相談支援従事者現任研修に講師等として企画立案に従事しており、今年度の「地域づくり」に係るプログラムを担当する(予定の)者であること。</p> <p>(4) 上記③に該当しない場合、相談支援従事者現任研修のカリキュラム・具体的内容について、昨年度の実施結果及び今年度の検討状況を把握し理解している者であること。</p>			
タイムスケジュール				
3月6日(金)				
No.	項目	内容	時間	
1	目的・内容説明	○ 進行役よりプログラムについての説明 全体進行：山口麻衣子(地域生活支援センターすみよし) プログラム説明：大平真太郎(滋賀県障害者自立支援協議会)	11:00~ 11:10	10
2	振り返り講義	「地域づくりの理論的理解を深めるための講義(ふりかえり)」 講師：島村 聡(沖縄大学 名誉教授)	11:10~ 11:30	20
3	受講者インタビュー	「身近な実践から始まる地域づくり」 ○ 6月研修を受講後の意識や実践の変化などについてのインタビュー ① 地域づくりの何に苦労したか？ ② 成果としてできたこと(達成感) インタビュー：(調整中) インタビュアー：島村 聡(沖縄大学 名誉教授)	11:30~ 11:50	20
4	グループワーク	○ 6月研修を受講後の意識や実践の変化などについて共有 ・ 6月研修時のグループで同窓会的に	11:50~ 12:30	40
昼食休憩(60分)				
5	内容説明	○ 進行役よりプログラムについての説明	13:30~ 13:35	5
6	受講者報告	○ 6月研修後の県内での都道府県内での現任研修プログラム等についての議論の状況と研修内容の工夫点報告とインタビュー 報告者：(調整中) インタビュアー：大前美希子(生活支援センターおはな)	13:35~ 13:50	15
7	グループワーク	○ 6月研修後の議論と研修内容の工夫についてグループでの意見交換 ① 都道府県で(地域づくりのプログラムについて)どのような意見交換がされましたか？ ② 都道府県研修に工夫されたことはありましたか？ ③ その他いろいろ情報交換	13:50~ 15:00	70
8	全体共有	○ いくつかのグループよりワーク内容について共有 ○ 講師コメント・まとめ 一丸善樹(障害者相談支援事業所リガーレ) 城戸 修一(長崎市障害者相談支援事業所つどい)	15:00~ 15:30	30